

おいにまなび

亀岡市立大井小学校 研究推進便り

令和4年12月23日

生き生きと表現し、主体的に学習する子どもを育成する

～ つながり・むすぶ ～

今学期も子ども達が「主体者」となって学習に取り組めるように研究を進めてきました。校外学習へ行き、そこで働く方達から話を聞いたり、見学・活動したりする中で、自分のハテナ（問題）の答えを見つけました。また、教科書に載っている問題を子ども達の身近な問題に置き換えて、家庭や地域の中で調べ、自分達が調べてきたことからハテナ（問題）を考える中で、学習内容をより一層、自分事として捉えられるようにしてきました。

話し合い活動や考えを交流するための工夫としては、写真や動画、ロイロノート（学習アプリ）、思考ツールを活用し、自分の考えを可視化し、それぞれの考えをみんなで共有できるようにしました。

3学期も子ども達が「主体者」となって学習に取り組み、一人一人の学びをつなげながら学びを深め、活かす方法を探っていきます。

【1年生 生活科「あきであそぼう」】

11月に大井神社へ秋見つけに出かけました。その時に見つけた紅葉した葉やドングリなどの秋のものを使って、亀岡市立幼稚園の年長さんと一緒にどんぐりごまを作ったり、色水を作ったりしました。また、市立幼稚園から、オナモミの的あてやどんぐり転がしを持ってきてもらいました。1年生と年長さんがグループになり、アドバイスしたり、一緒に活動したりして、仲良く秋を存分に楽しんでいました。



【2年生 生活科「大井町のすてきをつたえよう」】

1学期「大井町のすてきを見つけよう」では、大井町にあるお店の人のねがいに着目して学習しましたが、2学期は、大井町にいる人に着目して学習しました。大井神社、並河駅、亀岡市立図書館 大井分館、並河駅前交番で働く人たちの願いを聞きました。学習を通して、大井町に住む人たちが安心して笑顔で過ごしてほしいという願いをもって働いていることに気づくことができました。



【3年生 社会科「火事からくらしを守る」】

火事からくらしを守るための人々の工夫や努力について学習しました。まずは、亀岡消防署に見学へ行き、消防署で働く人達が人の命を守るために様々な工夫や努力をされていることを学びました。その後は、学校の中にある消防施設や設備を探したり、大井町消防団の方に来ていただき、お話を伺ったりする中で、消防署だけではなく、学校や地域でも、人の命を守るための工夫や努力をしていることに気づくことができました。



【4年生 社会科「自然災害からくらしを守る」】

自然災害、特に風水害から自分たちを守る事について学習しました。今までの経験からどのような自然災害があるのかを確認し、災害から暮らしを守るために行われている工夫について学びました。家で備えているものや学校・地域で備えているもの、避難所について知り、災害が発生した時に対応できるように様々なところで備えがあると安心して暮らせることに気づくことができました。



【5年生 社会科 「自動車をつくる工業」】

自動車生産を通して、製造工程や工場相互の工夫、工業生産に関わる人々について考えを深めていきました。自分達の周りには工業製品が溢れ、それらによって生活が支えられていることを改めて感じる事ができました。その一方で、工業製品が環境に影響を与えていることを知り、便利な暮らしを守りつつ、自然と共存していくために、これからどうしていくのかについて考えを深めることができました。



【6年生 社会科「町人の文化と新しい学問」】

江戸時代に生まれた新しい文化や学問が、社会や人々の暮らしにどんな影響を与えていったか、どのように、明治維新という新時代へのエネルギーになったかということ、グループで分担して授業をしました。「めあて」を設定し、大切な事がみんなに伝わるように資料をモニターで提示したり、クイズで出題したり、グループで相談する時間をとったりするなど、工夫を凝らして授業を構成していました。友達に伝えようとする、受け身で授業をただ聞いているより理解が深まり、伝える方も伝えられる方も主体的に学習を進めることができました。

